

## 平成25年（2013年）の択捉焼山の火山活動

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

3月29日に択捉焼山で噴火が発生し、気象衛星で海拔約2,000mの高さの噴煙が観測されました。

## ○ 発表中の火山現象に関する警報等

平成 19 年 12 月 1 日 10 時 20 分	噴火予報（平常）
----------------------------	----------

## ○ 2013年の活動概況（図1～2、表1）

3月29日に択捉焼山（標高1,158m）で噴火が発生し、20時00分の気象衛星（MTSAT-2）画像で、海拔約2,000mの高さの噴煙が観測されました。これに伴い、気象庁東京航空路火山灰情報センターは29日21時37分に航空路火山灰情報<sup>1)</sup>を発表しました。その後、気象衛星画像で噴煙は観測されていません。

- 1) 航空路火山灰情報は、航空機が火山灰を回避するなど、航空機の安全運航のために発表している情報です。世界9か所に情報提供を行なうセンターが設置されており、東京センターでは東アジア及び北西太平洋領域を担当しています。

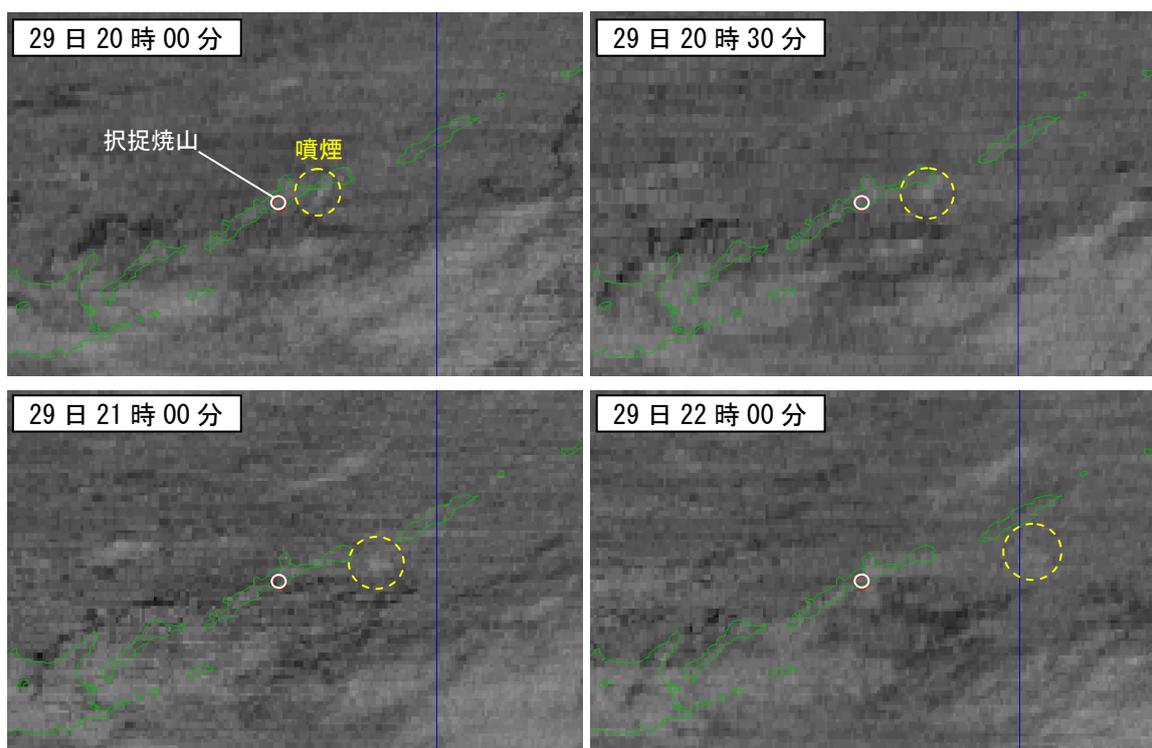


図1 択捉焼山 3月29日に気象衛星画像で観測された噴煙（火山灰）

（気象衛星（MTSAT-2）画像はすべて赤外差分画像<sup>2)</sup>。白色の○印は択捉焼山。黄色の破線内は噴煙。）

- 2) わずかに波長の違う2つの画像の差をとることによって、火山灰や黄砂を白く浮き上がらせて判別しやすくした画像です。

この資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

表 1 択捉焼山 記録に残る火山活動

発生年月	主な現象
1968(昭和43)年2月	噴火。
1970(昭和45)年	噴火。
1973(昭和48)年1月初旬	噴火：山頂火口で小爆発。
1973(昭和48)年5月16日	噴火：山頂火口で一連の強い爆発。大きな火口形成。
1989(平成元)年5月3～14日、 6月19日、8月上旬	噴火：爆発、噴煙高度2,000m。
2012(平成24)年8月15～26日	噴火：噴煙高度は海拔4,000～5,000m。

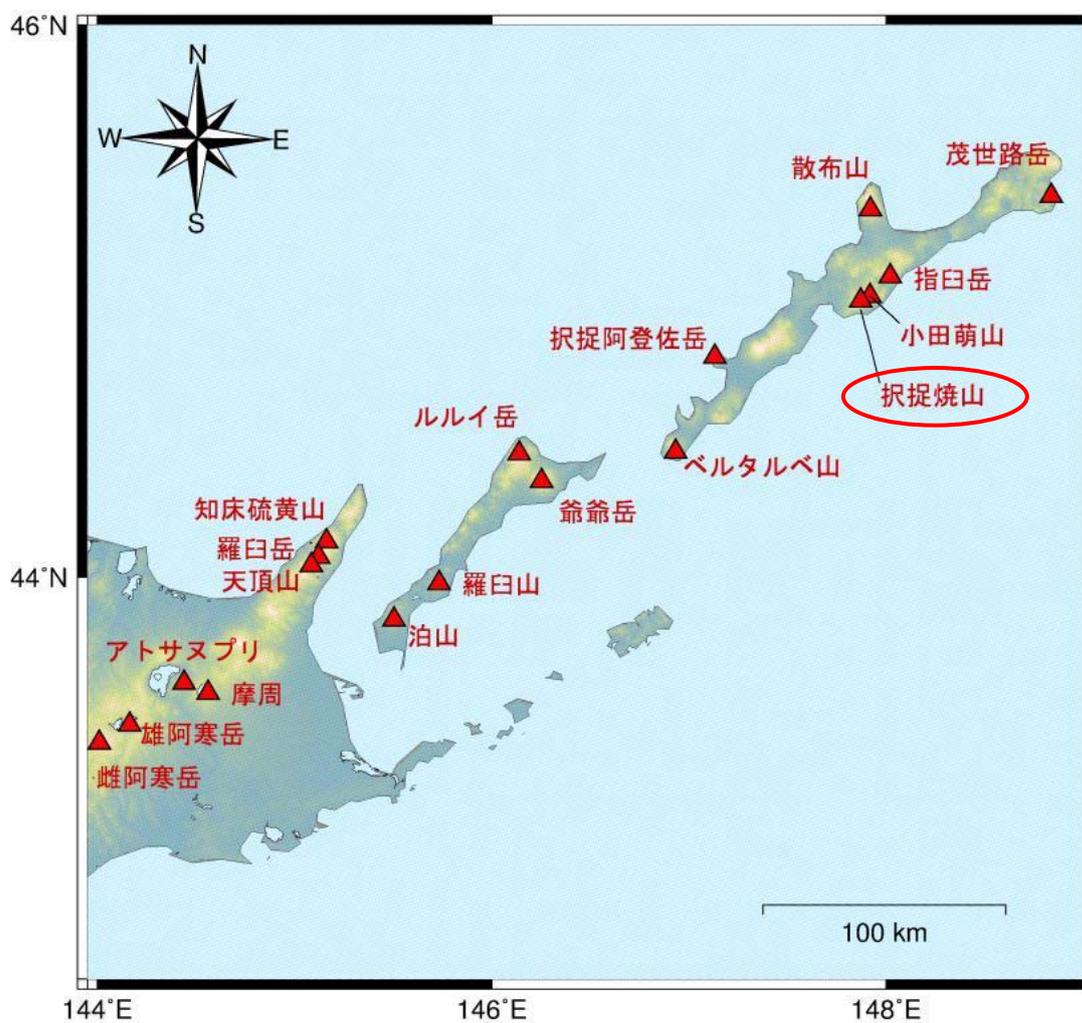


図 2 択捉焼山の位置